

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年12月19日更新

事務事業名		公有財産災害復旧事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康			所属部	総務部	課長名	坂本 浩一郎
	施策	2	行政改革の推進			所属課	管財課	担当者名	宮本 拓摩
	施策の柱	12	公有財産の管理運営			所属班	契約管財班	(内線)	1273
予算科目	会計一般	款 11	項 4	目 1	事業連番 11684	根拠法令	合志市庁舎管理規則、ビル管理法、建築基準法、消防法、電気事業法	成果優先度評価結果	：
								コスト削減優先度評価結果	：
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 29年度で終了 <input type="checkbox"/> 29年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 28 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	平成28年度熊本地震により被害を受けた合志庁舎外壁について、被災度区分調査の実施により、外壁タイルの浮きや破損が多数確認された。来庁者及び職員の安全を確保するため、災害復旧の起債対象事業として災害復旧工事を行う。
【業務の流れ】	・設計委託、入札、契約、施工、履行管理、完了検査、支払い
【主な予算費目】	報償費、需用費(施設修繕費)、委託料(設計業務委託、危険度判定業務委託)、工事請負費
【意見や要望】	早期の復旧が望まれている。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動) (DO)	外壁タイルの浮きや破損の災害復旧工事を行う。	30年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
		終了
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 施設	予算の主な増減の理由
→ ア: 合志庁舎	施設	なし
→ イ:		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	合志庁舎	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位) 合志庁舎
		→ ア: 合志庁舎
		→ イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	安全な庁舎に復旧する	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位) %
		→ ア: 工事進捗率
		→ イ:
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
復旧が完了すれば事業完了となる。		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	28年度実績(決算)	29年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	29年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	施設			1	1	1				
② 対象指標	合志庁舎			1	1	1				
③ 成果指標	%			0	100	100				
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円		8,176		68,500			
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円		7,917		7,964			
		(A) 事業費計	千円		16,093	0	76,464			
		(A)のうち指定経費	千円		0	0	0			
		(A)のうち時間外、特勤	千円		0	0	0			
		正規職員従事人数	人		3	0	3			
延べ業務時間	時間		40	0	558					
(B) 人件費計	千円		0	0	2,207					
トータルコスト(A)+(B)	千円		16,093	0	78,671					

事務事業名	公有財産災害復旧事業	所属部	総務部	所属課	管財課
-------	------------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 今年度（平成29年度）で完了。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 今年度（平成29年度）で完了。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 今年度（平成29年度）で完了。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 今年度（平成29年度）で完了。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 今年度（平成29年度）で完了。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 今年度（平成29年度）で完了。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 本市における行政サービスの中心となる必要不可欠な施設であるため、公平・公正が保たれている。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 市の行政事務を執行する施設であり、他には移行できない。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

今年度（平成29年度）で完了。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>今年度（平成29年度）で完了。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						